

米国ブライトーフューチャー太陽光発電所の商業運転開始 および通電記念式の開催について

2022年2月24日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社(代表取締役社長:藤原 正隆)が、100%子会社である Osaka Gas USA Corporation(以下「OGUSA」)を通じて50%の出資権益を保有する米国ブライトーフューチャー太陽光発電所は、1月27日^{※1}に商業運転を開始し、2月22日^{※1}に通電記念式を行いました。

本発電所はノースカロライナ州に所在し、発電容量が1万5,700kW(PCS容量^{※2}:1万1,000kW)の太陽光発電所です。発電された電力は、今後25年間にわたり地元の電力事業者に販売する予定です。

OGUSAは、三菱重工業株式会社(以下「三菱重工業」)の100%子会社である米国三菱重工業株式会社(以下「MHIA」)と設立した合弁会社を通じて、2021年9月に本発電所を取得し、建設を進めてきました。今後、合弁会社が本発電所の運営を行います。

OGUSAは米国エネルギー事業において、フリーポートLNG液化事業、シェールガス開発事業、発電事業を3本の柱として位置づけ、収益拡大を進めています。

発電事業においては、天然ガス火力発電事業に加え、再エネ事業に参画することで、低・脱炭素社会の実現に貢献します。

Daigasグループは2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、2030年度までに、自社開発や保有に加えて他社からの調達も含めて、国内外で500万kWの再エネ電源の普及に貢献することを目指しており、今後も再エネの普及拡大を進めることで、低・脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 米国現地時間

※2 PCS(Power Conditioning Subsystem):太陽光発電所で発電した電力(直流)を家庭等で利用するために交流に変換する機械。数値は交流変換後。PCS容量が系統電力へ送電可能な最大電力となる。

1. 本発電所の概要

発電所名	Brighter Future Solar Farm(ブライトーフューチャー太陽光発電所)
所在地	ノースカロライナ州コールドウェル郡
発電容量	パネル容量:1万5,700kW PCS容量:1万1,000kW
商業運転開始	2022年1月27日

<本発電所の現地写真>



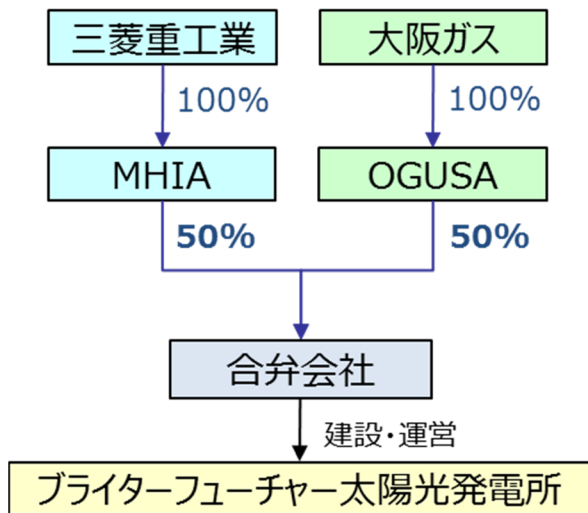
<本発電所の位置>



2. 通電記念式の様子



3. 事業スキーム図



以上